



ここにいるから Vol.06

発行 2021.12.1
発行者 天草イルカラボ
Mail info@dolphin-lab.com



イルカの基礎知識②後編

食性の後編、餌の捕り方についてです。イルカたちは、餌を捕るために仲間同士で協働したり、単独で行ったり、あるいは人間の漁のおぼれをもらったり、はたまた、世界規模では、人間と助け合っている文化もあります。

仲間と協力するときには、例えば、魚の群れの周りをぐるぐると数頭で取り囲んだり、魚を追い回すイルカとその逃げる方向に他のイルカが先回りをして待ちかまえたりなど色々な方法があります。単独で捕まえるときは、エコロケーションと呼ばれる方法も使います。これはイルカ最大の特徴になります。エコロケーションについては、別回で解説します。



おや、写真のイルカは口にワカメをくわえています！肉食動物なのになぜ？これは、イルカの遊びの様子です。イルカたちは、海にあるものを使って、自由に遊びを創作すると考えられています。食べ物ではないものを、口にくわえて、水中で離してその動きを眺めたり、口からポイッと投げ飛ばしたりもします。ときには、数頭のイルカで海藻のパスキャッチをして遊んだりします。口だけではなく、背びれや胸びれも上手に使います。さらに、一度くわえた魚を食べずに放ることもあります。(たまに歯型の残った魚が浮かんでいます・・・)イルカたちが、口に何かをくわえていたら、ぜひよく見てみてくださいね！

SDGsには17個の目標(ゴール)が設定されています。それぞれ簡潔なキャッチコピーがあり、それを果たすための具体的な指標が示されています。さらに、この17個はお互いに補完しあうことで【誰ひとり残り残さない】という大局的なテーマで関連づいています。これまでは対立構造になりやすかった、社会 経済 環境の三要素が、お互いを認め合って持続可能な地球の姿を目指していく姿勢であり、時代を象徴する運動になっています。



天草イルカラボは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

ひろみコラム

天草のイルカたちが、バスキャッチをしている現場には、まだ遭遇したことがない～他のイルカスポットでは見たことがあります、とてもレアな行動！天草でぜひみ、みたい、

記事や活動についてのお問い合わせ

天草イルカラボ
 amakusa_dolphin

検索

